

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

1. 令和7年度適正利用・エコツーリズム検討会議の議論

第1回WGを令和7年8月1日（金）に開催した。主な報告内容及び指摘事項は下記のとおり。

(1) エコツーリズム戦略見直しに向けたロードマップと会議体の見直しについて

- ・エコツーリズム戦略見直しに先立ち、WGと検討会議の役割の明確化と、既存の戦略に紐づく計画等の整理を行い、令和8年度末を目途に戦略改定を目指すこととした。
- ・会議体の役割の明確化については、既存の会議体の枠組みは維持しつつ、提案制度がより有効に活用される仕組みづくりの指摘があった他、長期モニタリングなどの専門的事項はWGのみで議論することなどの提案があった。
- ・戦略の見直しに向けては、戦略達成に向けた戦術策定や達成度を測る指標の必要性について指摘があった。

(2) インタープリテーション全体計画の進捗状況について

- ・過年度に実施したワークショップの成果を共有するとともに、今後インタープリテーション全体計画をストーリーブックとしてとりまとめるにあたっての構成案を提示した。
- ・ストーリーブック作成に当たっては、地域の方々の生の声を活かすことや、学術的視点の必要性、活用のされ方も想定したとりまとめ方について指摘があった。

(3) その他個別事項

①岩尾別川のヒグマ問題について

- ・岩尾別側のヒグマ問題について、これまで行ってきた対策等を整理し説明。
- ・自然公園法に基づく規制の徹底やアクセスコントロール、監視カメラの設置の必要性について指摘があった他、ヒグマ問題についての緊急声明を科学委員会で発出するよう、ヒグマWGと合同で提案することが合意された。

②知床五湖園地 高架木道の更新について

- ・設置から20年近くが経過し老朽化が進んでいるため、今後基本設計を行い更新を進めていく旨を報告。

2. 今後の会議運営

- ・第1回適正利用・エコツーリズム検討会議：令和7年10月30日 羅臼町
- ・第2回適正利用・エコツーリズムWG：令和8年1月頃 斜里町
- ・第2回適正利用・エコツーリズム検討会議：令和8年2月頃 斜里町

3. 座長の選任

- ・敷田委員の退任に伴い、エコツーWGの新座長に愛甲委員、座長代理に石黒委員及び松田委員が選任。

以上